

IBM System x



**IBM Integrated Installer for
Microsoft System Center
ユーザーズ・ガイド**

バージョン 5.0

IBM System x



**IBM Integrated Installer for
Microsoft System Center
ユーザーズ・ガイド**

バージョン 5.0

お願い

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、29 ページの『特記事項』に記載されている情報をお読みください。

Edition notice

This edition applies to version 5.0 of IBM Integrated Installer for Microsoft System Center and to all subsequent releases and modifications until otherwise indicated in new editions.

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原典： IBM System x
IBM Integrated Installer for
Microsoft System Center
User's Guide
Version 5.0

発行： 日本アイ・ピー・エム株式会社

担当： トランスレーション・サービス・センター

第1刷 2013.11

© Copyright IBM Corporation 2012.

目次

図	v
本書について	vii
規則および用語	vii
情報リソース	ix
PDF ファイル	ix
World Wide Web リソース	ix
第 1 章 IBM Integrated Installer	1
コンピューターの要件	1
第 2 章 コンポーネントのインストール	3
セットアップ・ウィザードを使用したコンポーネント のインストール	3
第 3 章 コンポーネントの保守	11
コンポーネントの変更	11

コンポーネントの修復	16
コンポーネントのアンインストール	20

付録 A. トラブルシューティング 25

付録 B. 参照 27

IBM Integrated Installer のアクセシビリティ機能	27
アクセシビリティ	27
キーボード・ナビゲーション	27
アクセシビリティの例外	27

特記事項 29

商標	30
重要事項	30



1. 初期化	3	12. Suite コンポーネントの追加および削除	13
2. 言語選択リスト	4	13. 「確認」ページ	14
3. ウェルカム・ページ	4	14. InstallShield ウィザードの状況	15
4. 「前提条件」ページ	5	15. インストール結果	16
5. インストールするコンポーネントの選択	6	16. 「Suite コンポーネントの修復」ページ	17
6. コンポーネントの確認	7	17. 「修復の確認」ページ	18
7. InstallShield ウィザードの状況	8	18. インストール・ウィザード	19
8. インストールをキャンセルするかどうか尋ねる メッセージ	9	19. 修復結果	20
9. インストール結果のページ	10	20. 「確認」ページ	21
10. 「保守」ページ	11	21. アンインストールの確認を求めるメッセージ	22
11. 前提条件	12	22. 「結果」ページ	23

本書について

このユーザーズ・ガイドには、IBM® Integrated Installer for Microsoft System Center の最新情報が記載されています。

規則および用語

太字の「注」、「重要」、または「注意」で始まっているパラグラフは、重要な情報を強調する特定の意味を持つ注意書きです。

注: これらの特記事項は重要なヒント、ガイダンス、またはアドバイスを提供します。

重要: これらの特記事項は、不都合なまたは困難な状態を避けるために役立つ情報またはアドバイスを提供します。

重要: また、これらの特記事項は、プログラム、デバイス、またはデータへの考えられる損傷を示します。損傷が起こりうる指示または状態の前には警告通知が表示されます。

情報リソース

IBM Integrated Installer for Microsoft System Center に関する追加情報を、製品資料およびワールド・ワイド・ウェブ上で入手できます。

PDF ファイル

PDF 形式で提供されている資料を表示および印刷します。

Adobe Acrobat Reader のダウンロード

PDF ファイルを表示または印刷するには、Adobe Acrobat Reader が必要です。コピーを Adobe Reader の Web サイトからダウンロードできます。

PDF ファイルの表示と印刷

以下のリストにある PDF ファイルは、すべて表示または印刷が可能です。
Microsoft Systems Management Solutions for IBM Servers にアクセスして、サインインし、資料のダウンロード・リンクを見つけます。

PDF ファイルの保存

PDF ファイルを保存するには、以下のステップを実行します。

1. ご使用のブラウザで、PDF へのリンクを右クリックします。
2. 以下のいずれかのタスクを実行します。

Web ブラウザー	コマンド
Internet Explorer の場合	「名前を付けて保存」をクリックします。
Netscape Navigator または Mozilla の場合	「リンク ターゲットに名前を付けて保存」をクリックします。

3. PDF ファイルを保存するディレクトリーに移動します。
4. 「保存」をクリックします。

World Wide Web リソース

以下の Web ページには、IBM System x、BladeCenter[®] サーバー、およびシステム管理ツールの理解、使用、およびトラブルシューティングに役立つリソースが用意されています。

Microsoft Systems Management Solutions for IBM Servers の IBM Web サイト

Microsoft Systems Management Solutions for IBM Servers の IBM Web サイト

IBM Upward Integration for Microsoft System Center v5.0 用の最新のダウンロードを見つけます。

IBM システム: 技術サポート・サイト

IBMシステム技術サポート・サイト

IBM ハードウェアおよびシステム管理ソフトウェアのサポートを見つけます。

IBM システム管理ソフトウェア: ダウンロード/登録ページ

IBMシステム管理ソフトウェア: ダウンロード/登録ページ

IBM Systems Director などの IBM システム管理ソフトウェアをダウンロードします。

IBM System x® システム管理ページ

IBMSystem x システム管理ページ

IBM Director エージェントまたは IBM Director コア・サービスを使用した IBM システム管理の概要を入手します。

IBM ServerProven® ページ

System x ServerProven ページ

BladeCenter ServerProven ページ

IBM System x、IBM BladeCenter、および IBM IntelliStation® ハードウェアとの互換性に関する情報を入手します。

第 1 章 IBM Integrated Installer

このセクションでは、IBM Integrated Installer について概説します。

コンピューターの要件

このリリースでは、以下のハードウェア、オペレーティング・システム、およびソフトウェアがサポートされています。

ハードウェア要件

IBM Integrated Installer ツールには、特別なハードウェア要件はありません。このツールは、Windows オペレーティング・システムをサポートする IBM および IBM 以外のサーバー、ワークステーション、ラップトップ上で実行することができます。

サポートされているオペレーティング・システム

IBM Integrated Installer ツールは、以下の Windows オペレーティング・システムでサポートされています。

- Windows Server 2003 SP2 / R2 SP1 (Enterprise Edition、Standard Edition)
- Windows Server 2003 SP2 / R2 x64 (Enterprise Edition、Standard Edition)
- Windows Server 2008 SP1 / SP2 (Enterprise Edition、Standard Edition)
- Windows Server 2008 SP1 / SP2 x64 (Enterprise Edition、Standard Edition)
- Windows Server 2008 R2
- Windows Server 2012
- Windows Server 2012 R2

ソフトウェア要件

IBM Integrated Installer ツールをホスト・コンピューターにインストールするのに使用するアカウントには、管理者特権が必要です。

第 2 章 コンポーネントのインストール

IBM Integrated Installer のセットアップ・ウィザードは、コンポーネントのインストールに必要な手順をガイドします。

セットアップ・ウィザードを使用したコンポーネントのインストール

このタスクについて

コンポーネントをインストールするには、以下のステップを実行します。

手順

1. Integrated Installer のパッケージを unzip し、実行可能ファイル `setup.exe` をクリックして、セットアップ・ウィザードを開きます。 IBM Integrated Installer for Microsoft System Center, 4.0 のスプラッシュ・ページが開き、続いて言語選択リストが表示されます。

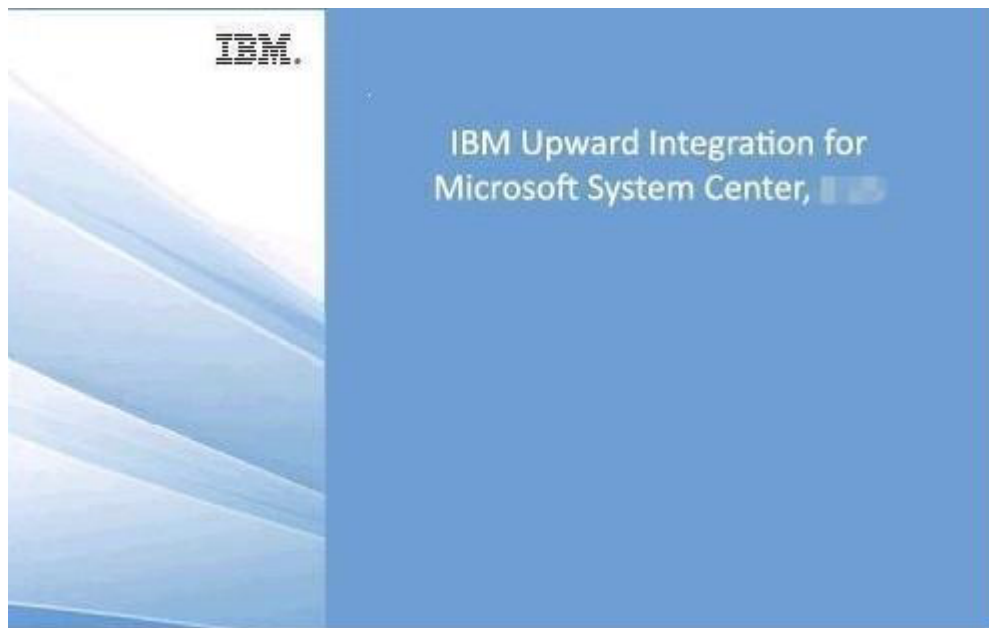


図 1. 初期化



図 2. 言語選択リスト

2. Integrated Installer の言語を選択します。

注: 選択した言語でコンポーネントがインストールされます。



図 3. ウェルカム・ページ

3. 「ウェルカム」ページで、「次へ」をクリックします。「前提条件」ページが開きます。

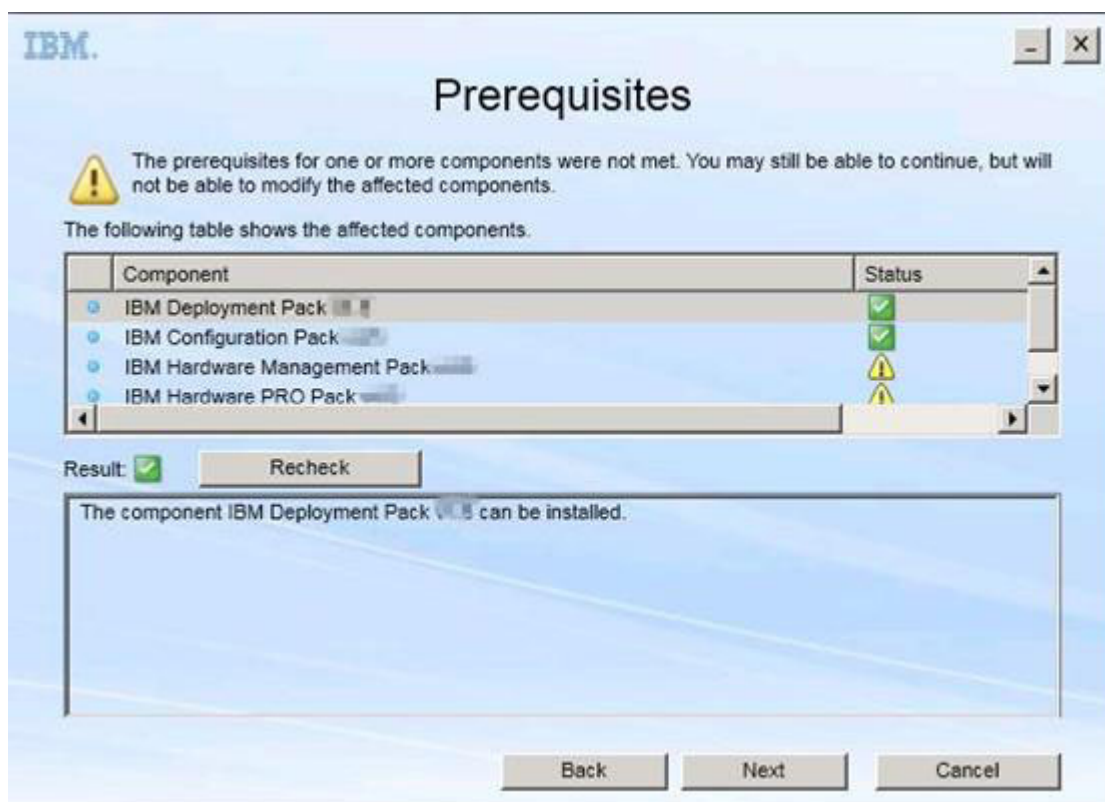


図4. 「前提条件」 ページ

- コンポーネントのインストールまたはアップグレードを行う前に「前提条件」ページを検証して、すべての前提条件を満たしていることを確認してください。前提条件を満たしていない場合、その前提条件の横にある状況アイコンが赤色のxで表示され、「次へ」が使用不可になっており、インストールを続行することができません。

続行する前に、インストール済み環境を変更し、前提条件を再度確認します。

- すべての前提条件が満たされたら、「次へ」をクリックしてインストールを続行します。「Suite コンポーネントのインストール」ページが開きます。

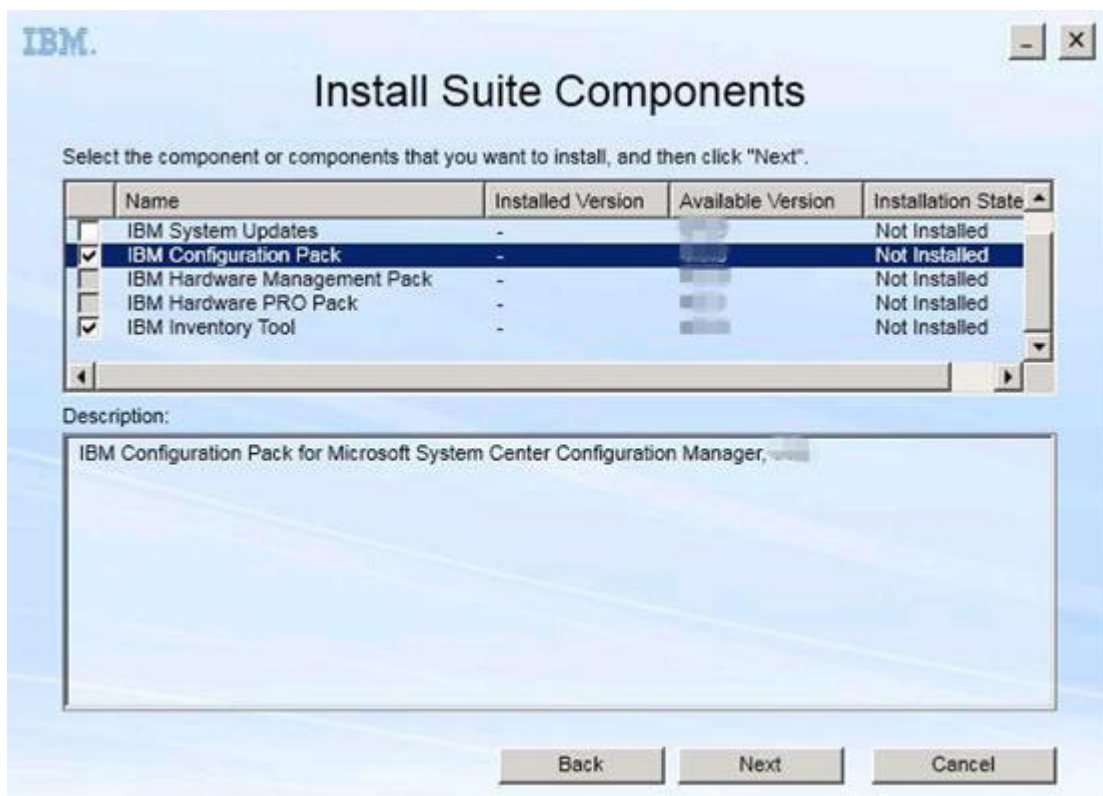


図 5. インストールするコンポーネントの選択

「Suite コンポーネントのインストール」ページに、インストール済みのバージョン、使用可能バージョン、およびインストール状態などの、コンポーネントに関する詳細が表示されます。インストール済みのバージョンとは、システムに既にインストールされたバージョンです。使用可能バージョンとは、Integrated Installer に含まれるバージョンです。

インストール状態は、インストール済みバージョンと使用可能バージョンによって異なります。インストールの状態には、次の 4 つがあります。

- インストールされていない - インストールされているバージョンがありません。
- インストール済み - インストール済みのバージョンは、使用可能バージョンと同じです。
- アップグレード - インストール済みのバージョンは、使用可能バージョンより古いバージョンです。
- インストール不可 - インストール済みのバージョンは、使用可能バージョンより新しいバージョンです。

コンポーネントの前提条件を満たしていない場合、またはインストール状態が「インストール不可」の場合、関連するチェック・ボックスは使用不可になっています。この状態では、このコンポーネントに対して実行できるアクションがありません。この理由が、説明の領域に表示されます。

6. 使用可能な 1 つ以上のコンポーネントを選択し、「次へ」をクリックします。「確認」ページが開きます。

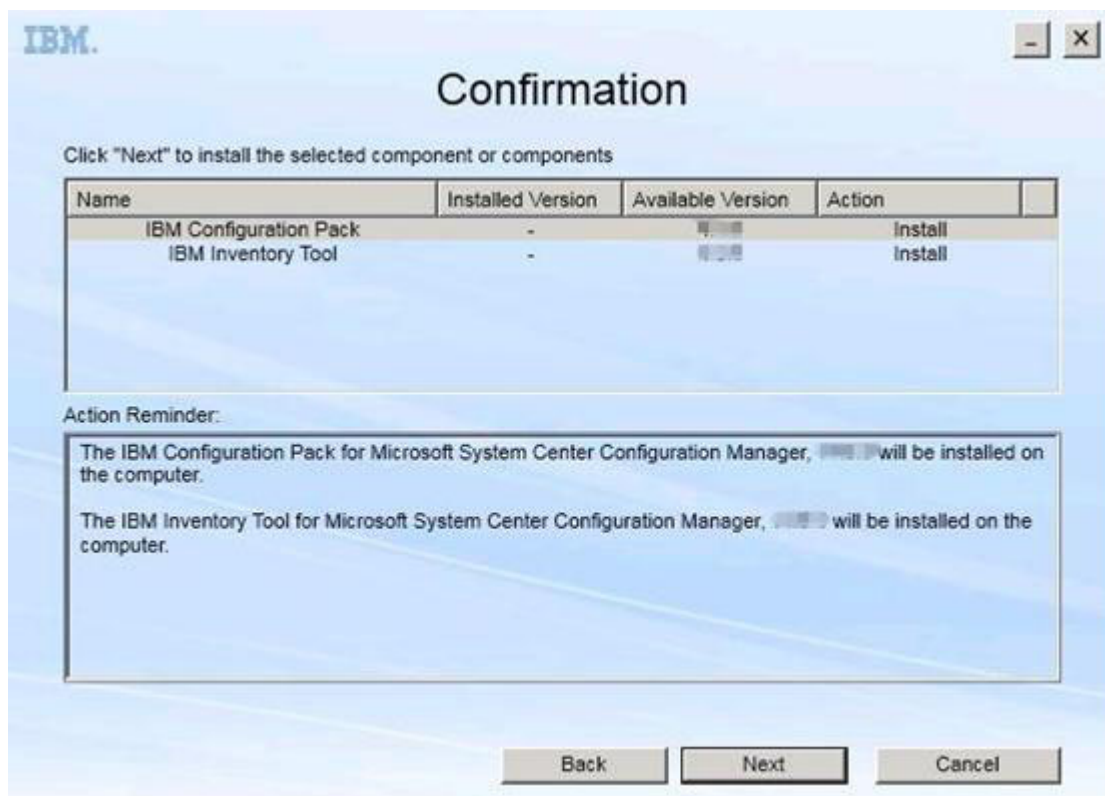


図 6. コンポーネントの確認

「確認」ページには、コンポーネントのインストール、修復、アップグレード、またはアンインストールを開始する前に確認する必要がある情報が要約されています。ここには、実行されるアクションが表示されます。

コンポーネントを 1 つ選択すると、関連情報が「**アクションの覚え書**」領域に表示されます。

7. 指定したアクションを開始するには、「**次へ**」をクリックします。 インストール・ウィザードの状況が表示されます。

インストール・ウィザードが、アクションの実行を開始します。各コンポーネントの個別のインストール・アプリケーションが、残りのインストール作業を完了します。このプロセスは、コンポーネントごとに発生します。



図 7. InstallShield ウィザードの状況

8. オプション: 残りすべてのコンポーネントで進行中のインストールを停止するには、「キャンセル」をクリックします。「キャンセル」をクリックしたときに実行中のコンポーネントのインストールは続行されますが、残りすべてのコンポーネントのインストールはキャンセルされます。以下のメッセージが表示されます。

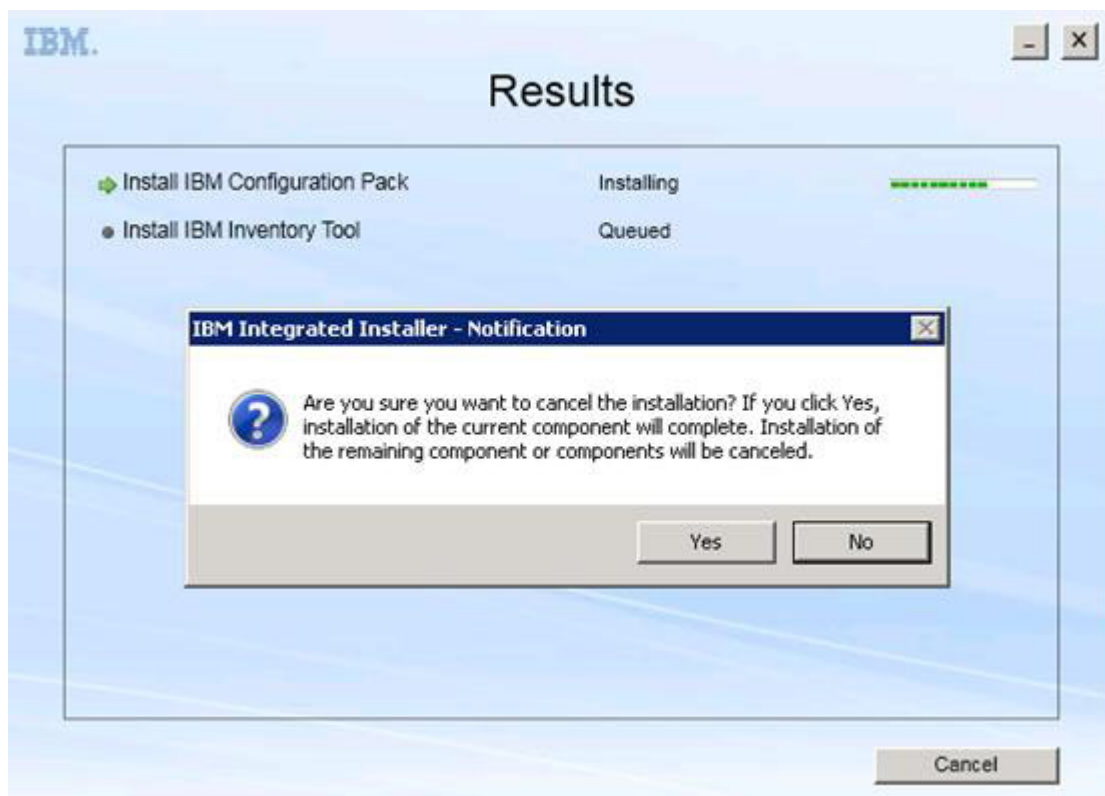


図 8. インストールをキャンセルするかどうか尋ねるメッセージ

インストールをキャンセルするには「はい」をクリックします。インストールを続行するには「いいえ」をクリックします。

インストール・プロセスが完了すると、「結果」ページが開きます。



図 9. インストール結果のページ

「結果」ページに、インストールの結果が表示されます。アクションがインストールに失敗した場合、**X** アイコンで示されます。ログ・ファイルを開いて問題の詳細情報を確認するには、「詳細」をクリックします。

9. ウィザードを完了するには、「完了」をクリックします。

第 3 章 コンポーネントの保守

以前に IBM Integrated Installer でコンポーネントをインストールした場合は、IBM Integrated Installer を開始すると「保守」ページが開きます。



図 10. 「保守」ページ

「保守」ページから、フィーチャーの変更、修復、およびアンインストールを行うことができます。

コンポーネントの変更

コンポーネントを追加、削除、およびアップデートする場合は、「変更」オプションを使用します。

手順

1. 「保守」ページで「変更」をクリックします。「前提条件」ページが開きます。

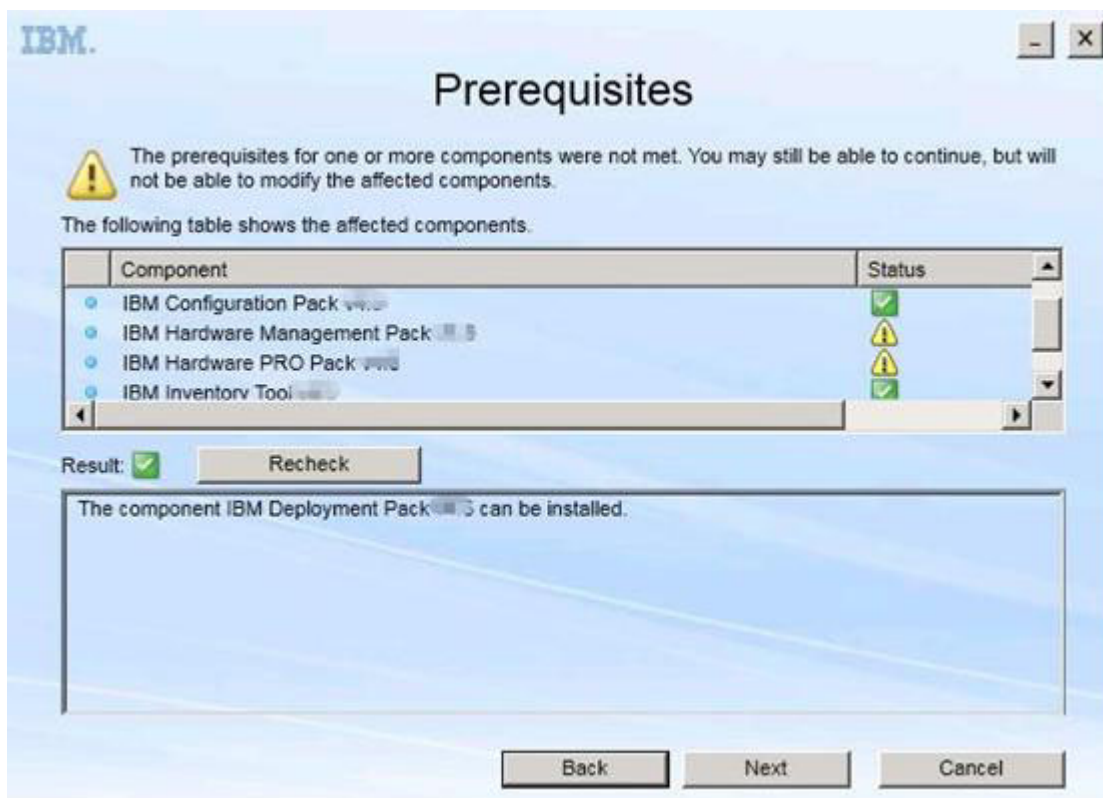


図 11. 前提条件

2. コンポーネントにおける前提条件を満たしていることを確認して、「次へ」をクリックします。「Suite コンポーネントの追加/削除」ページが開きます。

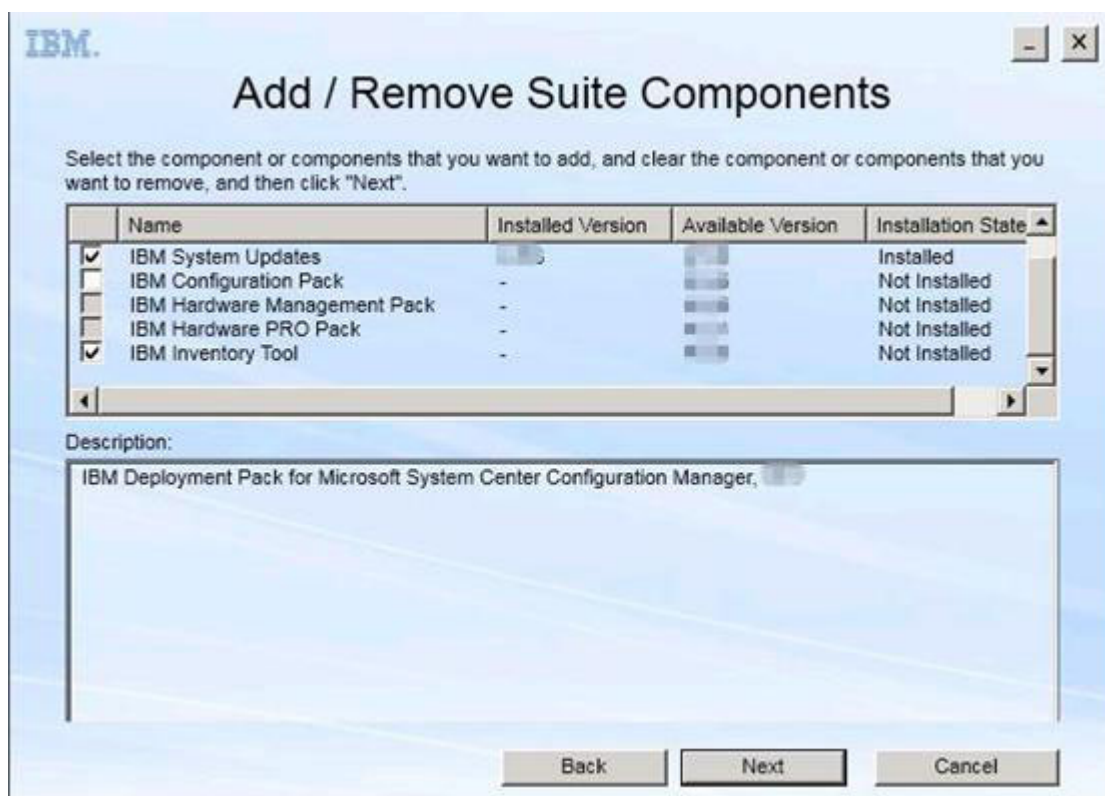


図 12. Suite コンポーネントの追加および削除

コンポーネントがインストール済みである場合は、そのコンポーネントのチェック・ボックスが選択され、ロケーションの宛先が使用不可になっています。これを変更することはできません。

古いバージョンのコンポーネントが存在する場合、前提条件を満たした後に、そのコンポーネントのチェック・ボックスを選択して、アップグレードされたバージョンをインストールすることができます。

コンポーネントのチェック・ボックスが使用不可になっている場合、そのコンポーネントをインストールすることはできません。コンポーネントにアクセスできない可能性がある場合、次の 2 つの理由が考えられます。

- ターゲットのコンピューターに、そのコンポーネントの新しいバージョンが存在している。
 - そのコンポーネントの前提条件が満たされていない。
3. 「Suite コンポーネントの追加/削除」ページで、コンポーネントのアンインストール、インストール、またはアップグレードを行います。

オプション	説明
コンポーネントのアンインストール	コンポーネントのチェック・ボックスをクリックして、「次へ」をクリックします。アンインストール処理を行うかを確認するメッセージが表示されます。「はい」をクリックして、コンポーネントをアンインストールします。

オプション	説明
コンポーネントのインストール	コンポーネントのチェック・ボックスを選択して、「次へ」をクリックします。
コンポーネントの新規バージョンへのアップグレード	更新したコンポーネントのチェック・ボックスを選択して、「次へ」をクリックします。 「確認」ページに、新規バージョンに関する情報が表示されます。

上記にリストされたアクションのいずれかを実行すると、「確認」ページが開きます。

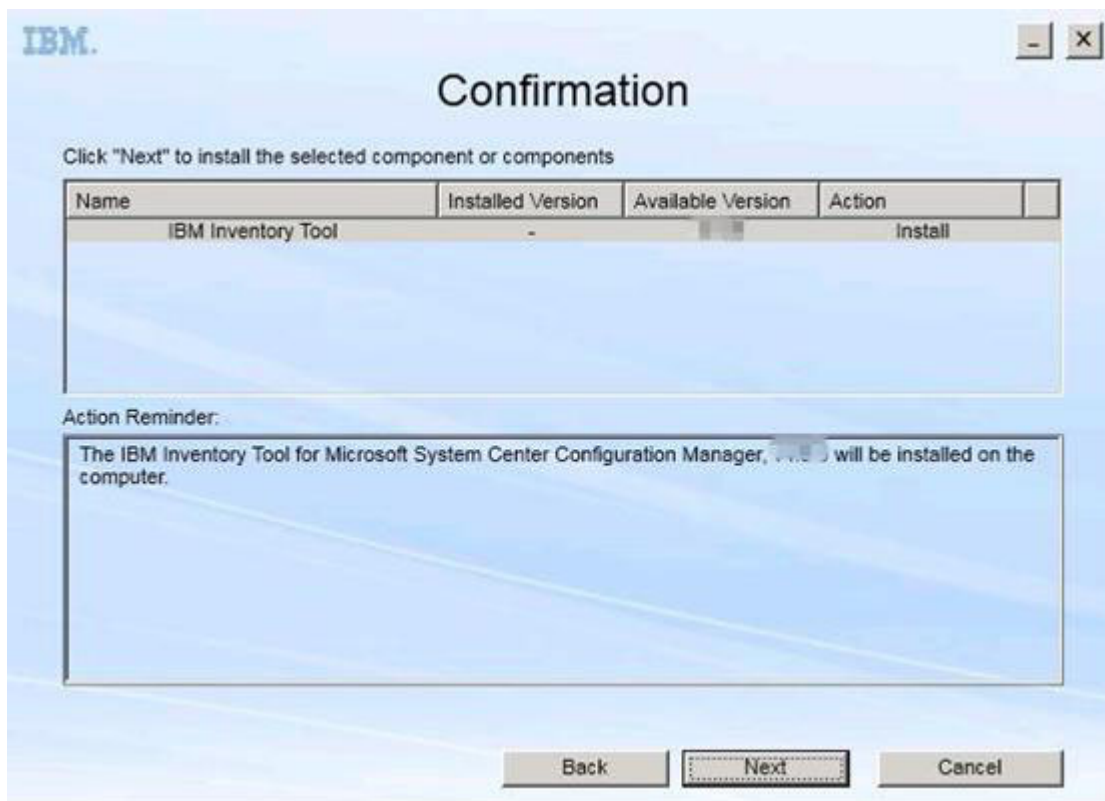


図 13. 「確認」ページ

4. 指定したアクションを開始するには、「次へ」をクリックします。 インストール・ウィザードの状況ウィンドウが開きます。

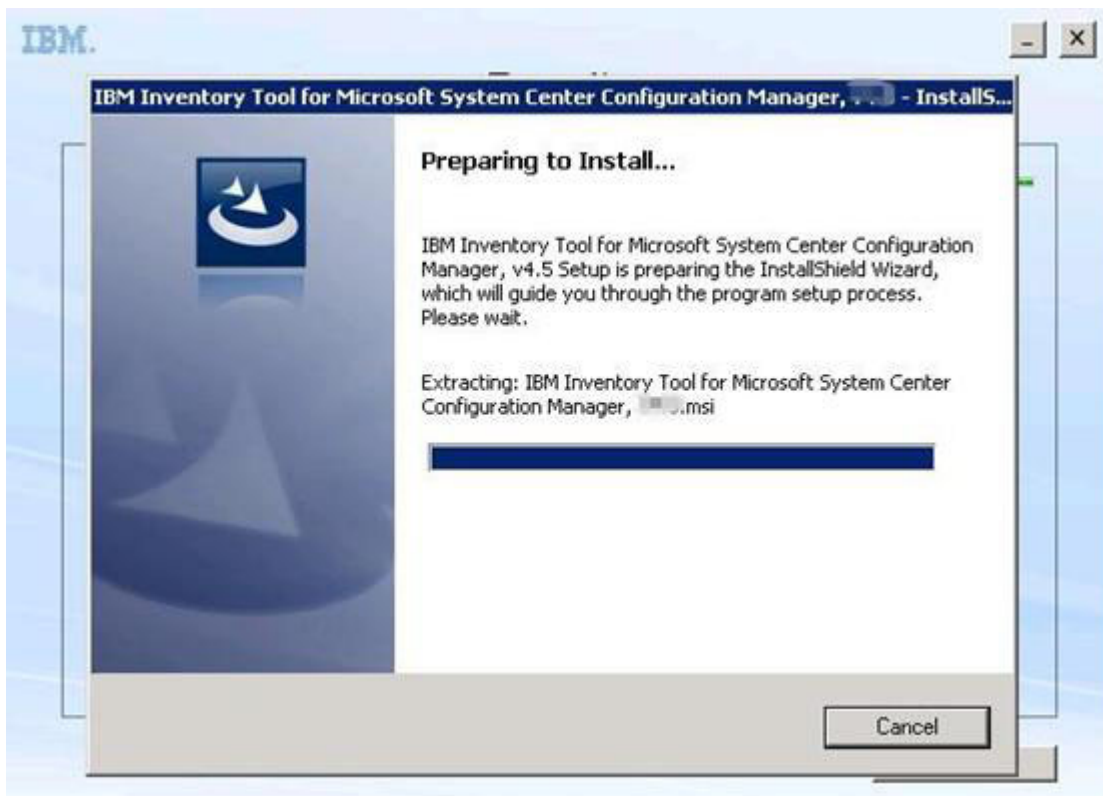


図 14. InstallShield ウィザードの状況

インストール・ウィザードが、アクションの実行を開始します。各コンポーネントは、それぞれ個別のインストール・アプリケーションを介して一度に 1 つずつインストールされます。

インストール・プロセスが完了すると、「結果」ページが開き、インストールが正常に完了したかどうかを表示します。



図 15. インストール結果

5. オプション: アクションが正常に完了しなかった場合、「詳細」オプションが提供され、これによってログ・ファイルが開きます。
6. ウィザードを終了する準備ができたなら、「終了」をクリックします。

コンポーネントの修復

インストール済みコンポーネントを修復するには、「修復」オプションを使用します。「修復」オプションでは、インストール済みコンポーネントのインストールされたファイル、レジストリー値、およびその他のアイテムを修復します。

このタスクについて

「修復」オプションと「変更」オプションのユーザー・インターフェースは、基本的に同じです。例えば「Suite コンポーネントの修復 (Repair Suite Components)」ページでは、画面キャプチャーに示すように、修復可能なコンポーネントがリストされます。アンインストールされたコンポーネントは使用不可になります。

手順

1. 「保守」ページから、「修復」を選択します。「Suite コンポーネントの修復」ページが開きます。

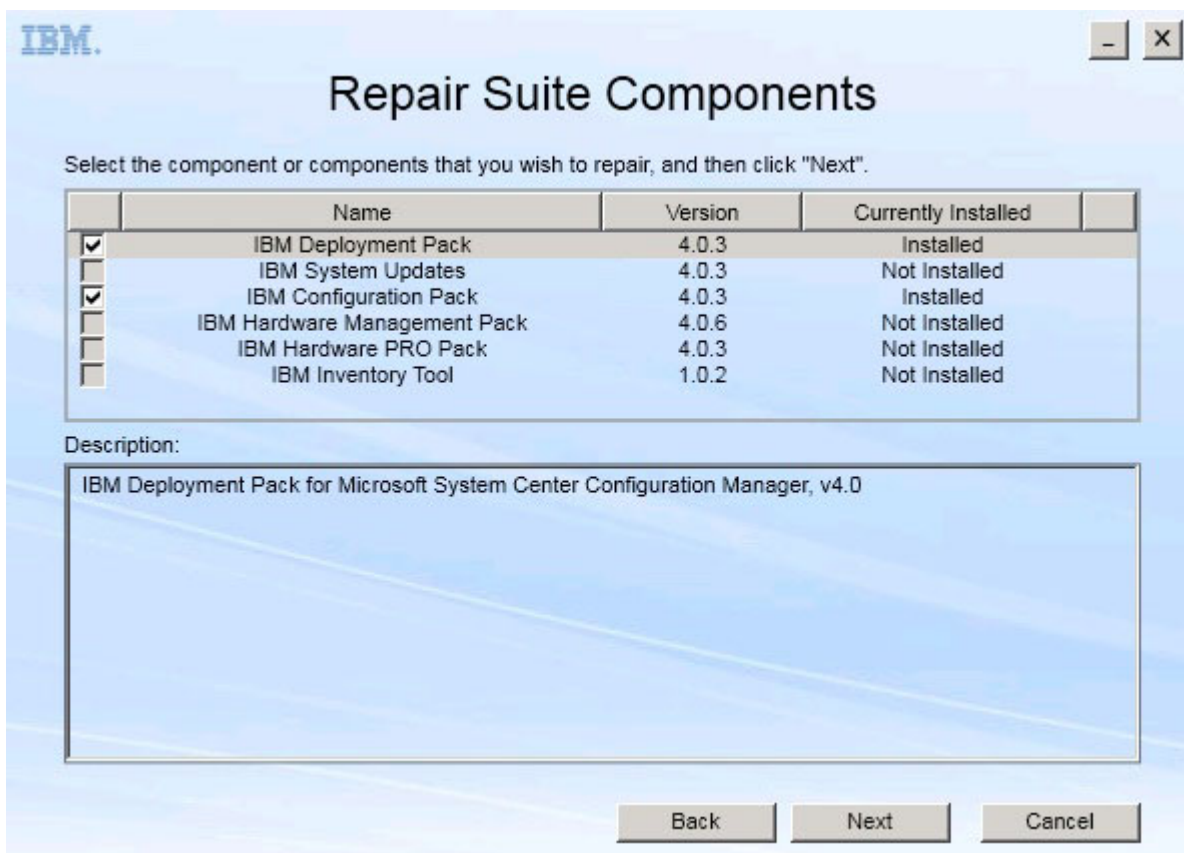


図 16. 「Suite コンポーネントの修復」 ページ

- 修復するコンポーネントのチェック・ボックスを選択して、「次へ」をクリックします。「修復の確認」ページが開きます。



図 17. 「修復の確認」 ページ

3. 修復アクションを開始するには、「次へ」をクリックします。 インストール・ウィザードが開きます。



図 18. インストール・ウィザード

各コンポーネントのインストール・アプリケーションは、そのコンポーネントの修復作業を実行します。これは、コンポーネントごとに行われます。

インストールが完了すると「結果」ページが開き、修復の状況が表示されます。

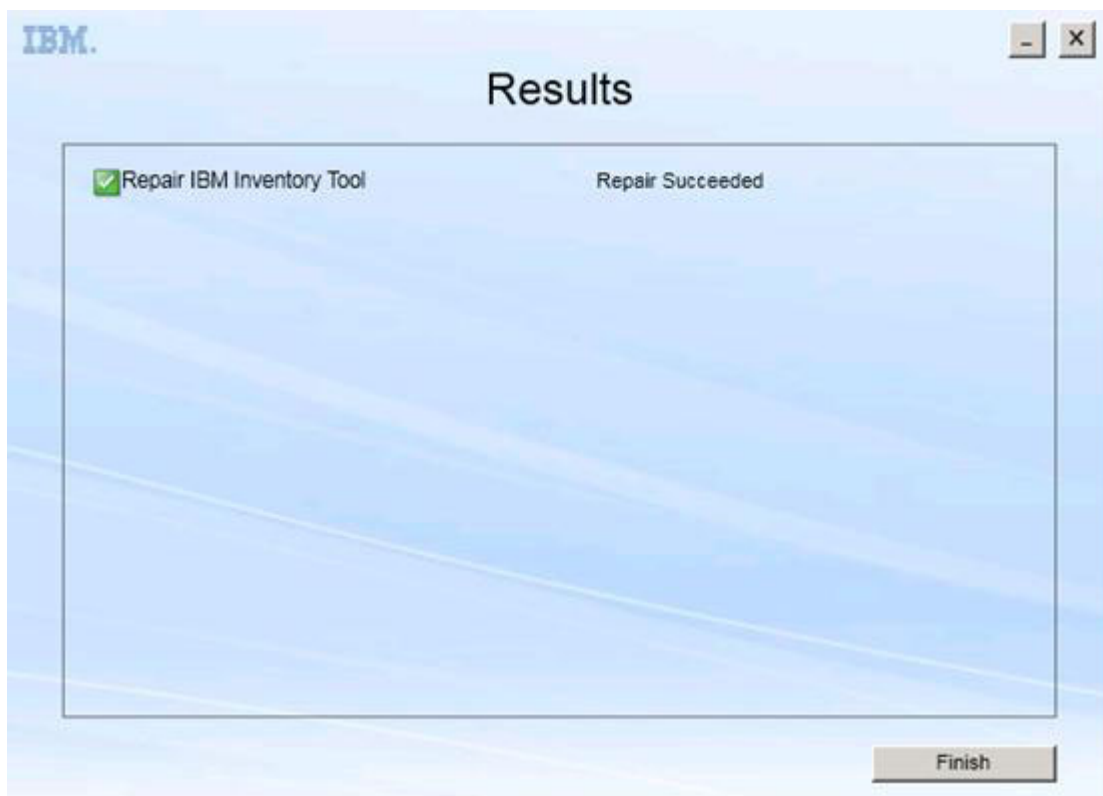


図 19. 修復結果

4. 「完了」をクリックします。

コンポーネントのアンインストール

インストール済みのすべてのコンポーネントを削除するには、「アンインストール」を使用します。単一のコンポーネントを削除するには、「保守」ページで「変更」オプションを使用します。

手順

1. 「保守」ページから「アンインストール」をクリックします。「確認」ページが開きます。

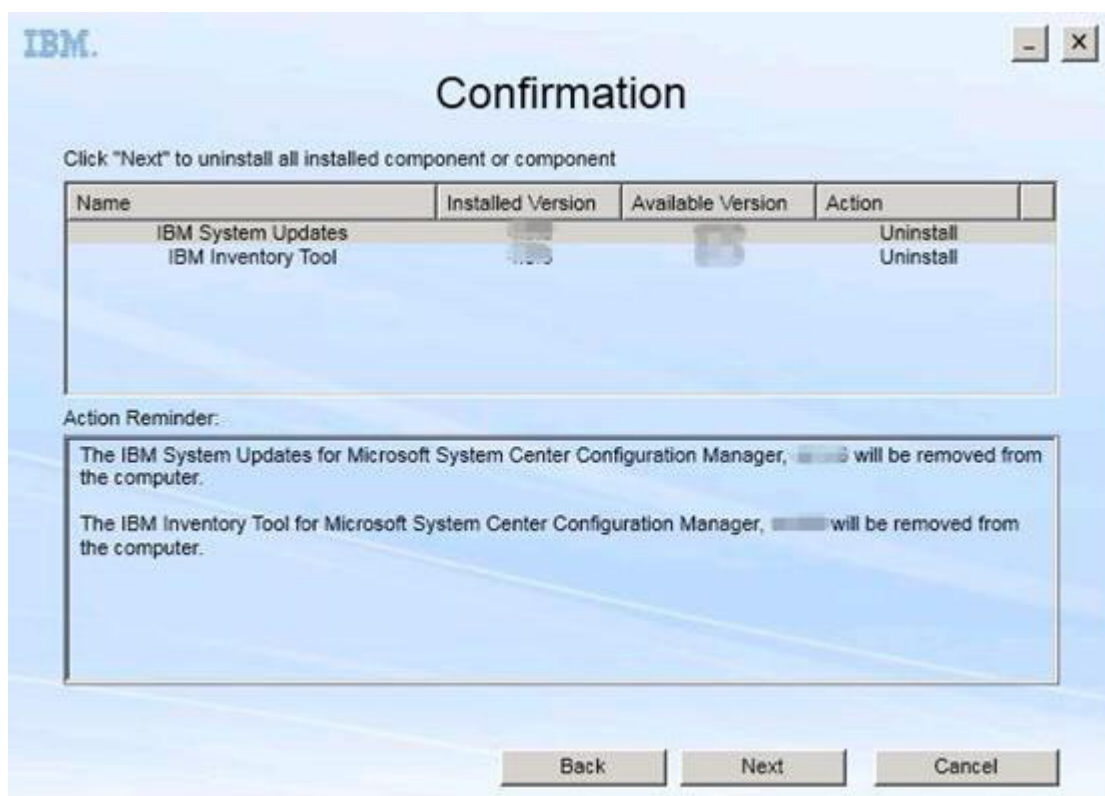


図 20. 「確認」 ページ

「確認」 ページには、実行する必要があるアクションの要約が表示されます。また、アンインストールを続行するかの確認が求められます。

2. コンポーネントをアンインストールするには、「次へ」をクリックします。

コンポーネントは、1 つずつアンインストールされます。プロセス中には、次の図に示すように、各コンポーネントをアンインストールする前にアンインストール・アクションを確認する必要があります。

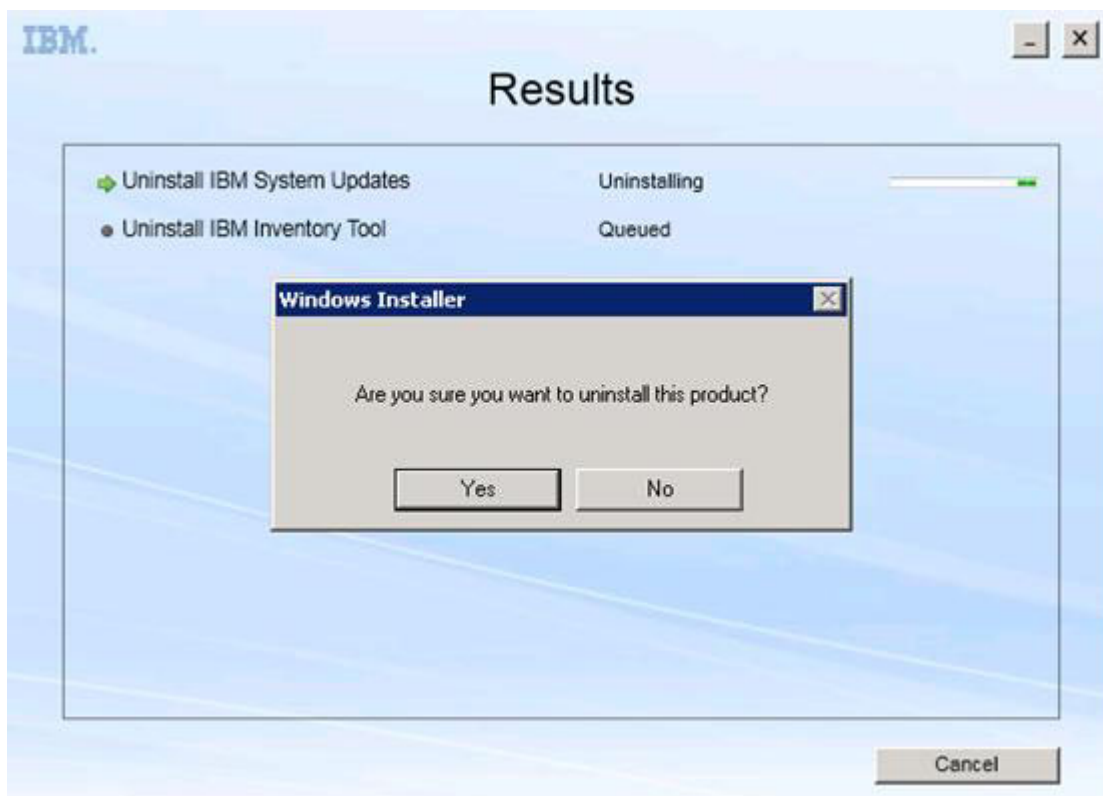


図 21. アンインストールの確認を求めるメッセージ

3. プロセスを完了するには「はい」をクリックします。プロセスが完了すると、「結果」ページが開きます。



図 22. 「結果」 ページ

4. 「完了」をクリックします。

付録 A. トラブルシューティング

このトピックでは、生じる可能性のある状態と、問題を修正するためのヒントについて説明します。

.Net Framework v4.0 がインストールされていない場合に、インストール・ウィザードが起動しない

問題:

.Net Framework 4.0 またはそれ以降のバージョンが、このコンピューターにインストールされていません。

考えられる解決策:

インストール・ウィザードの起動を試行する前に、.Net Framework 4.0 をインストールしてください。これは <http://www.microsoft.com/en-US/download/details.aspx?id=17718> からダウンロードできます

ディスク・スペースの制限によって、インストール・ウィザードがインストールまたは起動しない。

問題:

ディスク・スペースが不足しているためにコンポーネントをインストールできないことを示すエラー・メッセージが表示されます。

考えられる解決策:

ハード・ディスク上でスペースを消去し、コンポーネントをインストールするためのディスク・スペースを確保します。

.Network Framework 2.0 以降がインストールされていない場合に、Windows 2003 サーバー上でインストール・ウィザードに障害が発生する

問題:

Windows 2003 サーバー上に .Network Framework 2.0 以降がインストールされていない場合、インストール・ウィザードは開始できないか、障害が発生します。これは既知の制限です。

考えられる解決策:

インストール・ウィザードを実行する前に、ターゲット・サーバーに .Net Framework 4.0 またはそれ以降のバージョンをインストールしてください。

IBM Hardware Management Pack を残したまま IBM Hardware PRO Pack をアンインストール可能

問題:

IBM Hardware PRO Pack 機能はインストールする IBM Hardware Management Pack に依存します。IBM Integrated Installer インストール・ウィザードを使用して IBM Hardware PRO Pack をアンインストールする場合は、IBM Hardware Management Pack もアンインストールするように促すプロンプトが出されます。

「スタート」メニューまたは「コントロール パネル」から IBM Hardware Management Pack をアンインストールする場合は、システムに PRO Pack をインストールしたまま Management Pack をアンインストールすることが

できます。ただし、SCOM コンソールから IBM Hardware Management Pack を削除する場合は、最初に PRO Pack をアンインストールする必要があります。PRO Pack は、IBM Hardware Management Pack がインストールされていないと機能しません。

考えられる解決策:

IBM Hardware Management Pack をアンインストールする前に、IBM Hardware PRO Pack をアンインストールしてください。

インストール・ウィザードは、コンポーネントをネットワークにマップされたドライブにインストールするが、コンポーネントを始動できない

問題:

コンポーネントはネットワークにマップされたドライブにインストールされますが、コンポーネントを正常に始動できません。インストール・ウィザードが、ネットワークにマップされたドライブにコンポーネントをインストールするとき、コンポーネント・ファイルのみがコピーされます。

コンポーネントが実行中に生成された情報は、ローカル・マシンに記録されます。したがって、コンポーネントをリモート・サーバーから直接起動することはできません。

付録 B. 参照

これらのトピックには、製品を使用するために役立つ追加の参照情報が含まれています。

IBM Integrated Installer のアクセシビリティ機能

アクセシビリティ機能は、運動障害または視覚障害など身体に障害を持つユーザーが情報技術製品を快適に使用できるようにサポートします。

アクセシビリティ

IBM System Updates には以下のアクセシビリティ機能が備わっています。

- キーボードのみで操作できます。
- すべての情報を色に頼らずに伝えます。
- フォント、サイズ、およびカラーに関するシステム設定が継承されます。
- スクリーン・リーダーおよび画面拡大機能によって通常使用されるインターフェースをサポートします。

キーボード・ナビゲーション

本製品では、標準の Microsoft Windows ナビゲーション キーを使用します。

IBM とアクセシビリティ

アクセシビリティに対する IBM の取り組みについては、IBM Human Ability and Accessibility Center Web サイト (<http://www-03.ibm.com/able/>) を参照してください。

アクセシビリティの例外

以下の問題は、アクセシビリティの制限として知られています。

JAWS は、インストール・ウィザードでチェック・ボックスが選択されているかクリアされているかを通信することができない

インストール・ウィザードの「インストール/アップグレード」ページまたは「追加/削除」ページにあるリスト表示で 1 つの項目を選択してから、スペース・バーを押してその項目のチェック・ボックスを選択したりクリアしたりした場合、JAWS (Job Access With Speech) はそのチェック・ボックスが選択されているかどうかを判別することができません。この問題は、既知の制限です。

特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものであり、本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。

日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒103-8510
東京都中央区日本橋箱崎町19番21号
日本アイ・ビー・エム株式会社
法務・知的財産
知的財産権ライセンス渉外

IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態で提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

商標

IBM、IBM ロゴ、および `ibm.com`[®] は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。

現時点での IBM の商標リストについては、<http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml> をご覧ください。

Adobe、PostScript は、Adobe Systems Incorporated の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Cell Broadband Engine、Cell/B.E は、米国およびその他の国における Sony Computer Entertainment, Inc. の商標であり、同社の許諾を受けて使用しています。

Intel、Intel Xeon、Itanium、Pentium は、Intel Corporation または子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Java[™] およびすべての Java 関連の商標およびロゴは Oracle やその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における商標です。

Microsoft、Windows、および Windows NT は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

UNIX は The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

重要事項

以下は、用語および請求に関する重要な前提事項についての視点です。

プロセッサの速度とは、マイクロプロセッサの内蔵クロックの速度を意味しますが、他の要因もアプリケーション・パフォーマンスに影響します。

CD または DVD ドライブの速度は、読み取り速度が変動します。実際の速度は記載された速度と異なる場合があります、最大可能な速度よりも遅いことがあります。

主記憶装置、実記憶域と仮想記憶域、またはチャネル転送量を表す場合、KB は 1024 バイト、MB は 1,048,576 バイト、GB は 1,073,741,824 バイトを意味します。

ハード・ディスクの容量または通信ボリュームを表す場合、MB は 1,000,000 バイト、GB は 1,000,000,000 バイトを意味します。ユーザーがアクセス可能な総容量は、オペレーティング環境によって異なります。

内蔵ハード・ディスクの最大容量は、IBM から入手可能な現在サポートされている最大のドライブを標準ハード・ディスクの代わりに使用し、すべてのハード・ディスク・ドライブ・ベイに取り付けることを想定しています。

最大メモリーは標準メモリーをオプション・メモリー・モジュールと取り替える必要があります。

IBM は、ServerProven に登録されている他社製品およびサービスに関して、商品性、および特定目的適合性に関する黙示的な保証も含め、一切の保証責任を負いません。これらの製品は、第三者によってのみ提供および保証されます。

IBM は、他社製品に関して一切の保証責任を負いません。他社製品のサポートがある場合は、IBM ではなく第三者によって提供されます。

いくつかのソフトウェアは、その小売り版 (利用可能である場合) とは異なる場合があります、ユーザー・マニュアルまたはすべてのプログラム機能が含まれていない場合があります。



Printed in Japan